



奨励賞

美幌町



頭首工でのウチダザリガニの駆除活動と捕獲したウチダザリガニ

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
北海道美幌高等学校 環境改善班
【美幌町】

オホーツクの自然を守れ！ オホーツクで実践する自然環境改善！

はじめは？

美幌博物館が美幌町で魚介類調査を行い、特定外来生物のウチダザリガニの生息を確認しました。在来種のニホンザリガニが減少し、ウチダザリガニによる生態系への影響を確認したので、この対策としてウチダザリガニの駆除活動が始まりました。環境改善班は、2014年から地域の環境を改善するため、この駆除活動に参加し、同じく駆除活動をしていた東京農業大学を含めた三者で駆除とその活用方法の研究を始めました。

おもな活動

累計で1万匹以上のウチダザリガニを駆除したので、大型個体が減り、ニホンザリガニの生息域が改善しています。また、駆除した命を有効活用するため、食用の他に有機肥料として利用する方法を研究しています。2015年から地域住民に向け、ウチダザリガニ交流会を開催し、高校生以下を対象にウチダザリガニの生態等を説明、駆除体験及び試食会、美幌高校環境改善班の活動発表をしています。

さらに、地域の多くの民間団体・行政機関で構成している「網走川流域の会」と連携し、網走川流域での清掃活動、環境調査やマイクロプラスチック調査及び網走湖の環境浄化試験などに取り組んでいます。



網走湖での環境調査

ここが自慢

【環境保全活動で地域と連携】

環境保全活動を通じて、地域での連携・協力が進み、効率的で大規模な活動が可能になりました。さらに、地域の繋がりが深まることで、美幌高校を中心に網走川流域の会を始め東京農大や美幌博物館、地域の学校・幼稚園などの団体が環境教育に関わり、地域内外の住民の環境保全への理解が広がっています。環境保全を地域の課題として感じてもらい、自然と生活・産業が共存できるように継続的に活動することで、網走川流域の農林水産業の持続的発展に寄与しています。その外、各種活動は、国連の目標であるSDGsに貢献しています。



地域の子供と一緒に駆除活動

連絡先

代表者名：伊與部 明さん／設立：2014年／生徒：6名

住所：美幌町字報徳94番地

電話番号：0152 - 73 - 4136 (担当：野口 潤さん)

F A X：0152 - 73 - 4137

E-mail：JUN-noguchi@hokkaido-c.ed.jp

U R L：http://www.bihoro-high.hokkaido-c.ed.jp/